

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

一般質問をした議員自身の原稿を基に編集しました。

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

- 野田小百合 議員 1 雪の対策について
- 2 望まれる図書館のあり方について
- 3 子どもの食をめぐる環境について
- 日坂 和久 議員 1 鳩山町地域防災計画について
- 2 鳩山町地域福祉推進プランについて
- 松浪健一郎 議員 1 鳩山ニュータウン再生・創造事業について
- 2 北部地域活性化について
- 根岸富一郎 議員 1 町が責任を持ち、民主的な地域行政を
- 2 介護保険料の引き下げと要介護認定率について
- 3 町の人口増加策について
- 石井 計次 議員 1 災害対策について
- 2 財政状況について
- 3 まちづくり行政(インフラ整備)について
- 4 ゆるキャラについて
- 田中 種夫 議員 1 企業誘致及び越辺川大橋の開通について
- 2 公共施設の美化について
- 小川 唯一 議員 1 農業行政
- 森 利夫 議員 1 南比企業跡郡の国指定史跡化等に関して
- 2 今宿のプラザMに開設した「はーとんカフェ今宿」について
- 中山 明美 議員 1 地域防災力の強化を(消防団支援法について)
- 2 認知症予防について
- 3 障がい者の雇用について
- 小峰 文夫 議員 1 企業誘致について
- 2 太陽光発電による屋根も働く鳩山町について
- 3 北部開発について
- 4 町営宴会場づくりについて

大雪対策

除雪範囲を広げられないか

除雪可能車や運転手の確保が難しい



野田小百合 議員

問 大雪による被害状況はどのようか。

答 2月25日現在で把握しているのは、住宅等の被害戸数487戸。住宅16件、車庫・カーポート457件、倉庫・物置など26件。

農業被害は約2500万円。

救急車の緊急出動は3件で、3人の方が軽症。

問 町は雪の対策をどのようにしているか。

答 町内6つの建設業者と『地震災害、風水害等に関する協定』を締結している。この協定書に除雪、凍結防止剤散布作業が入っている。

県道は県が除雪する。幹線町道と通学路、循環バス路線等を中心に6つのエリアに分け、事業者ごとに作業を実施する。

問 除雪範囲をひろげられないか。

答 生活道路の除雪は、除雪可能車両や運転者の確保という面からも正直難しい。

問 滞在型図書館への方向性についてどのような

ある日の給食
鳩豆ポタージュは
コンテスト優勝作品



に考えているか。

答 必要性は認識している。現状の図書館の限られた施設の中で、どのようなことができるか、さらに検討していきたい。

問 食育は知育、徳育、体育と並んで教育の根幹をなすもの。教科書と同様に食育を進めるための給食費は本来、公費負担とすべきものではないか。

答 教科書は全ての児童・生徒が等しく使用するもの。給食は実施していない自治体も多く、食費も地域により違う。財政的な面以外でも複雑な条件が絡むので制度設計が難しい。

日坂 和久 議員



防災計画・雪害対策

地域防災計画に雪害を盛り込むべき

雪害ならではの問題として盛り込む

鳩山町地域防災計画・雪害対策について

問 町は本冬期の降積雪を災害と捉えているのか。

答 鳩山町地域防災計画では、大雪に対する具体的な対策・活動について規定していないが、今回の大雪は災害に当たると考えている。

問 地域防災計画の一部見直しが行われたばかりだが、近年の異常気象を鑑み、今後の雪害対策の再考を要望する。

答 災害と認識をして対策をとる。大雪ならではの問題があり、防災計画に盛り込む必要がある。

問 雪路立往生車による道路交通障害が発生した。避けようとした車同士の衝突等、2次災害も考えられる。対応策を考へてはどうか。

答 車のスタック回避のため、坂道に砂を置くのも防止策だ。現在では撤去することも難しく、政府の官房長官もやっと撤去できる仕組みについて言及した。

問 災害対策本部の設置は検討したのか。

答 災害レベルの大雪と判断したが、立ち上げなかった。今後は臨機応変に対応していく。

問 今回の災害で参集した職員数は近隣自治体と比較して少ない。参集について如何に考えているのか。

答 災害に応じて自主的に参集するなど、職員としての使命感・責任感を持った行動を起こす心構えが必要である。

問 災害時に援護が必要な方々への対応、安否確認は実施できたのか。

答 雪害対策は想定しておらず、指示は出していない。



今後、大雪・竜巻・大型台風等への防災対策も必要だ

北部地域活性化

北部地域へ幹線道路の整備は

基礎調査を実施中

松浪 健一郎 議員



問 鳩山ニュータウン再生・創造事業についてその内容を伺う。

答 旧松栄小学校跡地に高年者が輝くまちづくり事業として、福祉・健康複合施設の整備計画を3月末までにまとめる予定。そして、特別養護老人ホームの法人等を選定していく。

問 鳩山ニュータウンの将来ビジョンを伺う。

答 国土交通省の補助事業である地方都市リノベーション事業の活用など、財源を確保し、町民と一緒にビジョンを描いて行きたい。

問 北部地域活性化に向けての基本方針を伺う。

答 第5条で幹線アクセス道路の整備があり、既に基礎調査を実施中だが、入西・赤沼線から先の道路をこのように整備するところを考えると、今のところまとまっていない。

問 北部地域活性化と次期更新施設絡みで、泉井地区から



国指定が待たれる新沼窯跡

要望書が出ているようだが。

答 拝見した。入西・赤沼線延伸の調査費用を計上し、4月から北部地域活性化推進室を作り進めていきたい。

問 泉井側の更新施設の画地は新沼窯跡の近くだが、新しい窯の遺跡の可能性と、出た時の更新施設に対する影響は。

答 地形から考えて問題ないと思う。だが、一部文化財が出た時は、文化財保護法が優先されるので、建設工期に影響が出る。ただ、小規模な遺跡であれば、影響は少ないと思う。

根岸 富一郎 議員



給食費の軽減、住宅への支援を 新規就農者の子育て支援住宅を研究中

問 町が責任を持ち、民主的な地域行政を問う自治区の規約の制定状況はどうか。

答 7自治区が制定済み、1区が検討中。

問 区長の職務を明文化しないか。

答 自治区の区域が地縁を原則にしていない場合があること。また、ニュータウン地域の自治組織のあり方を検討中でありその報告を待って、規則等の検討をしたい。

問 福祉委員の選出状況はどうか。

答 石坂1、石坂2、須江、竹本からそれぞれ女性1名を委嘱している。

問 介護保険料と健康づくりの関連性は。

答 要介護認定者割合が低く、保険料の低い保険者の取り組みでは、体操、運動教室を行っていているところが多い。

町は地域

健康教室のような高齢者を中心とした地域の支え合い、互助により、介護予防や生活支援を進めることが大切になってくる。

問 町の人口増加策で学校給食費の値下げは。

答 教育の一環でもあ

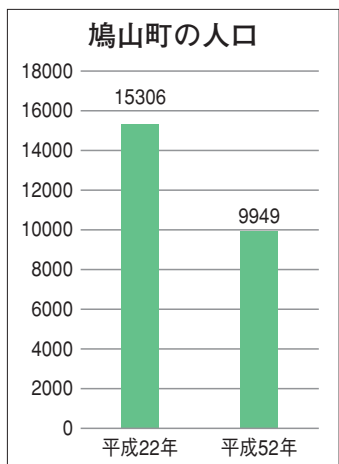
問 こども医療費窓口払い廃止の拡大は。

答 平成26年4月から

問 住宅取得、入居応援策はどうか。

答 新規就農者を対象とした子育て支援住宅で、農林水産省の補助金を活用することを、今研究している。

健康教室のよう



国立社会保障人口問題研究所

安全対策

県道、男坂・重郎橋間の拡幅を

平成26年度 測量調査を行う

石井 計次 議員



問 交通安全の観点から河川改修と切り離して考えないと時間だけが不毛に流れる。

答 歩道もなく危険な区間である。

問 町として国・県と話し合いを持った。県の担当者から越辺川・鳩川の改修工事が実施されなくとも県道岩殿・岩井線のこの区間の改良を実施できないか検討する。

答 26年度、測量調査を実施する。歩道についても県から話が出ている。

問 2月の記録的大雪について

答 本町の被害状況を伺う。

問 住宅、物置など合計499件。農業への被害状況はビルハウス、牛舎鶏舎などの施設被害は概算1950万円、農作物被害額は約500万円。

問 今後、災害で壊れた廃材の受け入れの一時保管場所を検討できないか。

答 公共財産の目的外使用の問題がある。防災計画とあわせて検討していきたい。

問 今回の大雪での教訓は何か伺う。

答 除雪については当初から細かくお願いしておくべきであった。除雪以外の教訓として、高齢者世帯から「外に出られない」などの不安の電話も役場に入った。災害時要援護者の仕組みを機能させるよい機会だったが、その機会を逃したと反省している。地域の支えあいの仕組みをしっかりつくり上げていかねばと改めて認識した。

拡幅要望の多い、重郎橋北側



田中 種夫 議員



施設改修

公共施設の改修を早急にすべき

補助事業を活用し財源の確保を図る

問 奥田地内の企業誘致、赤沼地内の食品系スーパー誘致、越辺川大橋の開通など町内は大きく変わろうとしている。そこで町内関連道路の交通量の増加が考えられるが、どのように対応するか伺う。

答 岩殿・岩井線及び県道ときがわ・坂戸線の交通量の変化はどうか。また中学校の通学路に指定されているが、交通状況により検討すべきであると思うが。

問 岩殿・岩井線の交通量は1日当り4300台だが、越辺川大橋開通後は大幅に増加し、8700台と見込まれている。なお、石坂方面については3100台が1200台に減少する試算も出ている。通学路については状況把握して検討しているか。

答 公共施設の美化について伺う。

以前にも依頼したが、鳩山中学校の生徒用の駐輪場、及び梅沢運動場の男女トイレの老朽化につ

いては、公立の施設として非常に見苦しい。どちらも町外からの来客者も多く、鳩山町の恥部と考えられる。早急に改修をして普通の一般的な施設にすべきである。豪華な施設は不要である。

問 駐輪場については昭和61年完成当時、1050名の生徒数であったが現在は3分の1に減少している。数回の補修は実施したが今後中学校側と一緒に検討する。また、梅沢運動場のトイレについても、今後の早急課題として検討していく。それまでしばらくは町民体育館を利用してほしい。



早急に改装工事が待たれる梅沢運動場トイレ

雪害対策

雪害に一刻も早い支援を

県と町で積極的に行う

小川 唯一 議員



問 雪害による被害状況は。

答 農業用施設被害約2千万円、農作物被害約2500万円。被害額は増える。

問 支援をどのように考えているか。

答 特別災害の指定をした。一日でも早い再建を県と町で積極的に支援する。

問 支援を早くしないと農家だけでなく、高い野菜を買う町民が困る。

答 野菜不足の長期化が心配。

問 資金の限度額は。

答 県500万円、町200万円。

問 6次産業化は何をもって行うのか。

答 6つのグループで試作、研究を重ねている。

問 成功例、失敗例をつかんでいるか。

答 地元には人気があるものからの商品作り。

問 亀井農村センター改

築について規模は。

答 木造平屋193・95平方メートル。

問 6次産業化に向けた稼働時期いつか。

答 具体的に何でいつかは申し上げられない。

問 新しくなるわけだが名称は。

答 とりあえず考えてない。

問 浄化槽は何人槽か。

答 5人槽。

問 面積からして問題ないか。

答 5人槽でと県の指導があった。

問 公共用水域の水質保全汚濁防止、雑排水との適正処理という点で問題ないか。

答 放流水質が守られれば問題ない。



雪害に遭ったハウス

森 利夫 議員



国指定史跡化

新沼窯跡等の国指定史跡に遅れは

遅れ等影響があるのは否めない

問 新沼窯跡を始めとする南比企業跡群の国指定史跡化について遅れや問題があるのでは。

答 年度途中で担当職員を交代させるといふ緊急事態が発生し、国指定化への遅れ等影響がある事は否めない。県教育局や文化庁さらに南比企業跡群学術評価委員の先生方に状況を説明し、引き続きのご支援ご指導をお願いした。本年4月より新採用の文化財専門職員を新たに配置し、一連の作業を進める。

問 新採用された文化財専門職員の発掘実績等の内容は。

答 大学院で考古学を専攻し、瓦を専門に勉強した。その後和歌山県と群馬県で各3年間発掘と報告書作成にかかわった学芸員である。

問 新年度4月からの、人的体制は。

答 事務を総括する課長補佐級管理職と、発掘や評価書を執筆する文化財保護専門員を

配置する。

問 国指定の範囲は。

答 農村公園周辺の窯跡と新沼窯跡を候補地とし、範囲を拡大したい。

問 数日前、突然の様に開設された、は〜とんカフェ今宿の利用状況や反応は。

答 開所当日約70名、火曜日と金曜日はそれぞれ約30名利用者がいた。次の開所日にまた来る約束をして楽しみに待つお年寄りもいた。

問 亀井地区にも開設したいと聞いたが予定は。

答 来年度策定する第6期高齢者福祉総合計画平成27年度から29年度の3か年計画で検討したい。



2月21日に開設した「は〜とんカフェ今宿」

中山 明美 議員



障がい者雇用

障がい者雇用のシステムは

坂戸市障害者就労支援センターに委託

問 役場での障がい者の雇用状況は。

答 4名。法定雇用率は2・3%に対して鳩山町は4・5%。

問 町内企業での障がい者の雇用状況は。

答 町では把握できていない。埼玉県全体の障がい者雇用の状況は調査しているが、町内には調査対象となる企業はほとんどない。

問 障がい者の就労斡旋システムは。

答 坂戸市障害者就労支援センターに委託して障がい者の就労相談等を行っている。求職の相談や情報提供、会社見学や面接への同行、職場定着支援などを行っている。本人と面談を行った後、必要に応じて町と連携を図りながら職業訓練先の紹介やハローワーク登録支援などの就労準備支援などを行っている。

問 障害者支援センターで関わった町内の障がい者の方の雇用状況は。

答 登録者は7名。就労者は2名。

就労支援事業所のB型として鳩山支援センター「はばたき」があるが、一般就労していない方の5名のうち2名がはばたきとの関わりを持つことができている。

問 はばたきから一般就労につながるケースはあるか。

答 2人いると聞いている。

問 良品計画、大型スーパーの雇用の見通しは。

答 障がいのある方もぜひ雇用していただくよう要請している。



就労斡旋にも取り組む毛呂山特別支援学校

小峰 文夫 議員



企業誘致

従業員募集、説明会の予定はいつか

5月(17、18)(24、25)の4日間

問 奥田地区に工事の良品計画の説明会はいつからか。

答 良品計画の操業開始が平成26年11月の予定なので、その前に従業員の研修を8月から10月の3か月間行うので、従業員採用にかかわる説明会を平成26年の5月17、18日、会場は両日ともニュータウンふれあいセンターで、また、同じく5月24、25日、この2日間は今宿コミュニティセンターにおいて開催する予定。

問 スーパーマーケット用地の工事状況について

答 昨年の12月議会でスーパー建設予定地の造成工事費を含めた区画整理特別会計補正予算の議決を受け、現在は準備段階。資材の調達擁壁材等建設搬入士の確保のための県土整備事務所との打合せした後、当該工事の本格的な造成工事に移っていく予定。

北部開発について

問 北部開発は、西の泉井、竹本、東の奥田と地域を決めて企業誘致を

優先した北部開発が出来ないか。

答 第5次総合計画の土地利用構想では、大橋、泉井、須江、竹本にかかる地域に活性化エリア、奥田、大橋、今宿地内に工業系の産業誘導エリア、下熊井石坂地内に商業系の産業誘導エリアを位置づけている。

問 旧玉川工業高校のグラウンドは竹本地区に入るが、ときがわ町と協議したことはあるか。

答 玉川工業高校跡地をときがわ町と一緒に考えさせて頂きたいということでは話してある。



完成間近の良品計画の工事状況

比企郡町村議会議員研修会

話し方のポイント

講師 フリーアナウンサー 屋木 綾伊子氏

比企郡町村議会議員会主催の研修会が、平成26年1月28日、リリックおがわ(小川町民会館)で開催されました。

比企郡町村議会議員研修会は、毎年開催されているものです。比企郡町村議会議員(東秩父村会)が、一堂に会する場において研修会を実施することにより、議員相互の情報交換の推進を図るとともに、各町村議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与することを目的としています。

講師は屋木綾伊子氏(元ニッポン放送アナウンサー) テーマは「話し方のポイント」です。滑舌をハッキリすることから講演に入り、会話の重要性には、3つの要素があるという。他の人にメッセージを伝えようとする時は3つの要素を尊重すること。表情、声、言葉を重視して伝えること。

また、3つの敬語のつかい分けでは、尊敬語、謙譲語、丁寧語。たとえば、「一言」を尊

つ姿勢までも研修をさせて頂きました。第1部の比企郡町村議会研修会の終了後、第2部が開催されました。

第2部では永年表彰式があり、鳩山町から小川唯一議員と野田小百合議員が永年表彰を受けました。

(小峰)



リリックおがわ(小川町民会館)